

地震・津波への対応について

1 自宅にいるとき

(1) 非常に強い地震のとき（震度6弱以上）

- ・自宅で待機してください。
- ・可能な限り、学校、もしくは担任に連絡してください。

(2) 強い地震のとき（震度5弱・5強程度）及び やや強い地震のとき（震度4程度）

- ・公共交通機関が動いており、通学路の安全が確認された場合は、その日の時間割の教材を準備し、安全に留意して登校してください。学校では、生徒の登校状況をみた上で授業を開始します。
- ・場所や被害の状況によっては、非常に危険な場合があります。被害の状況によっては、無理をしないで自宅で待機してください。この場合、学校、もしくは担任に連絡してください。

2 登下校中のとき

(1) 自転車・徒歩通学者

各自で安全な場所へ避難してください。その際、以下の点に注意してください。

- ・ブロック塀・自動販売機等、転倒の可能性がある物から離れる。
- ・頭部を保護し、安全な場所で身を伏せる。
- ・崖下・川岸・橋の上・ガス漏れ箇所から速やかに遠ざかる。
- ・沿岸部やため池の近くでは、高台や頑丈な建物の3階以上に避難する。

なお、登校中の場合は安全等の状況を十分確認して、可能な場合は登校してください。

(2) JR・ことடன்等の公共交通機関による通学者

乗務員・駅員の指示に従ってください。また、保護者と連絡を取ってください。

3 学校にいるとき

震度5以上の地震が発生し、保護者との連絡ができない状況になった場合、生徒は学校で待機させます。保護者の方は、道路等の安全確認の後に迎えをお願いします。生徒を直接、保護者へ引き渡します。